

# INDEX

## PART 1

### Class 別 明日の臨床を向上させる コンポジットレジン修復の着眼点

#### Class I

I 級窩洞への応用の位置づけ	10
フロアブルレジンの積極的な応用	12
接着操作での考慮事項	14
解剖学的形態をいかに賦与するか	16
レジンペーストの選択	18
内部ステインの応用	20

#### Class II

II 級窩洞への応用の位置づけ	22
II 級窩洞に直接充填する際の必要条件	24
隔壁の設置	24
コンタクトの回復(複雑窩洞の単純化)	26
形態修正と研磨	28
より複雑な窩洞でも窩洞の単純化を目指す	30

#### Class III

III 級窩洞への応用の位置づけ	32
歯質の裏打ちのある症例での窩洞形成	34
審美的な隣接面の形態をいかに賦与するか	36
隣接する窩洞修復のコンセプト	38
歯質の裏打ちのない症例での窩洞形成と修復	40
歯質の裏打ちのない大きな窩洞の効率的な修復	42

# INDEX

## Class IV

IV級窩洞への応用の位置づけ .....	44
前歯部における窩洞形成の考えかた .....	46
前歯部における接着システムの選択 .....	48
レイヤリングテクニックの臨床的な考えかた .....	50
修復物に質感を与え、いかに自然感を再現するか .....	52
歯間離開への応用テクニック .....	60

## Class V

V級窩洞への応用の位置づけ .....	62
歯肉側壁明視の必要性 .....	64
接着システムとレジンペーストの選択 .....	66
効率的な研磨法 .....	68
歯肉縁下う蝕修復時の留意点 .....	70

## Complex Anterior

コンポジットレジン修復の可能性 .....	72
変色失活歯への応用 .....	74
歯の形態異常の修正への応用 .....	76
ワンユニットブリッジへの応用 .....	78
Conclusion .....	80

# INDEX

## PART2

# コンポジットレジン修復の 臨床力を向上させるサイエンス

## エナメル質接着のサイエンス

そもそも接着とは	82
エナメル質は被着体として適しているか？	84
エナメル質の接着に酸処理が必要な理由	86
酸処理の効果への影響因子	88
セルフエッチングシステムにリン酸エッチングを併用すると…	90
エッチング材塗布のテクニック	92
エナメル質の接着耐久性	94

## 象牙質接着のサイエンス

象牙質接着とスマー層処理の関係	96
接着システムの進化	98
化学的接着性獲得の重要性	100
エッチ&リンスシステム	102
セルフエッチングシステムは簡便・確実か？	104
セルフエッチングシステムの臨床使用時の留意点	106
どの接着システムを選択すればいいのか？	108

## コンポジットレジンのサイエンス

コンポジットレジン修復は機能と審美を両立する時代に	110
フィラーテクノロジーはどう進化したのか	112
光重合開始剤のテクノロジーはどう進化したのか	114
検証・レジンペーストの操作性	116
コンポジットレジンの色調変化を認識する	118

Conclusion	120
------------	-----

## PART3

# コンポジットレジン修復の 臨床力を向上させるテクニック

## コンポジットレジン充填のテクニック

コンポジットレジン修復用窩洞形成の考えかた .....	122
舌側面形態賦与にはシリコーンガイドが不可欠 .....	124
審美修復時、歯のどこを観察すればよいか .....	126
残存歯質との調和をいかにして図るか .....	128
明度コントロールの考えかた .....	130
効率のよい臼歯部充填法 .....	132
臼歯部修復に必要な咬合面形態の捉えかた .....	133

## コンポジットレジン充填の器材

切削器具・機械の選択眼 .....	136
充填器の選択眼 .....	140
マトリクスを選択眼 .....	142
研磨器具の選択眼 .....	144
可視光線照射器の選択眼 .....	146
双眼ルーペの選択眼 .....	148
Conclusion .....	150

# INDEX

## PART 1

### 掲載症例 INDEX

#### Class I

- CASE 1 フロアブルレジンを多用した修復 ..... 13
- CASE 2 解剖学的形態の賦与を追求した修復 ..... 15
- CASE 3 窩底部色調の遮蔽とステインを応用した修復 ..... 18

#### Class II

- CASE 1 バイタイリングを使用した修復 ..... 25
- CASE 2 MOD 窩洞での修復 ..... 30

#### Class III

- CASE 1 歯質の裏打ちのある症例の修復 ..... 35
- CASE 2 隣接する小窩洞の修復 ..... 39
- CASE 3 歯質の裏打ちのない症例の修復 ..... 41
- CASE 4 隣接する大きな窩洞(裏打ちなし)の修復 ..... 43

#### Class IV

- CASE 1 シリコーンガイドを用いた修復 ..... 47
- CASE 2 ホワイトニングを併用したコンビネーション修復 ..... 54
- CASE 3 歯冠部切縁破折修復① ..... 56
- CASE 4 歯冠部切縁破折修復② ..... 58
- CASE 5 離開の幅が狭い場合の修復 ..... 61
- CASE 6 離開の幅が大きい場合の修復 ..... 61

#### Class V

- CASE 1 くさび状欠損に対するスタンダードな修復 ..... 65
- CASE 2 歯肉縁下にある根面う蝕への対応 ..... 71
- 参考症例 フロアブルレジンの充填法 ..... 66

#### Complex Anterior

- CASE 1 変色を伴う前歯の対称性の回復 ..... 75
- CASE 2 矮小歯(側切歯)の整復 ..... 77
- CASE 3 ワンユニットブリッジへの応用 ..... 79